様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	南海福祉看護専門学校
設置者名	社会福祉法人　南海福祉事業会

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nansen.ac.jp/lectures/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.nansen.ac.jp/lectures/index.html
財産目録	https://www.nansen.ac.jp/lectures/index.html
事業報告書	https://www.nansen.ac.jp/lectures/index.html
監事による監査報告（書）	https://www.nansen.ac.jp/lectures/index.html

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
教育・社会福祉		福祉専門課程	こども未来学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860時間	405時間	1,140時間	270時間	0時間	45時間
			1,860時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	52人	0人	8人	10人	18人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業は、講義・演習・実技・実習で構成している。 （講義15時間1単位、演習30時間1単位、実技45時間1単位、実習40時間1単位） 年間の授業は、前期(15週)と後期(15週)の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。　5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。
卒業・進級の認定基準
1. 規定の科目を履修し、各期末試験を受け、5段階評価のうち「2」以上の判定を受けていること。 2. 各科目3分の2以上の出席をしていること。 3. 納入すべき学費を完納していること。
学修支援等

クラス担任制をとっており、日々の学校生活を過ごしやすいよう目を配っている。授業欠席数の増加や成績不振の場合は個別面談を行い、補講も対応している。更には保護者と連携を取り、必要に応じて懇談を行う。
スクールカウンセラーも定期的に来校して心理的な相談もできるよう対応している。
学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう心掛けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 （100%）	0 人 （0.0%）	15 人 （ 88.2%）	2 人 （ 11.8%）

（主な就職、業界等）
保育所及び幼保連携型認定こども園、児童福祉施設　等

（就職指導内容）
早期に保育の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。就職担当教員が必要に応じて学生と面談し、的確な指導ができるよう配慮している。
2 年次 7 月に学内就職ガイダンスを実施して、様々な職種の事業所と面談して就業のミスマッチを未然に防ぐ。

（主な学修成果（資格・検定等））
保育士資格(国家資格)、幼稚園教諭二種(希望者のみ)

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50　人	4 人	8.0%

（中途退学の主な理由）
学業不振・進路変更等

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任による個別面談をすると共に、保護者への連絡及び連携も密にしている。教職員全体で学生の変化に気づくよう心掛けている。

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td colspan="2">課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育・社会福祉</td><td colspan="2">福祉専門課程</td><td colspan="2">介護社会福祉科</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2800 時間</td><td>1470 時間</td><td>690 時間</td><td>640 時間</td><td>0 時間</td><td>0 時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">2800 時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	57 人	23 人	4 人	14 人	18 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（授業は、講義・演習・実技・実習で構成している。
（講義 15 時間 1 単位、演習 30 時間 1 単位、実技 45 時間 1 単位、実習 45 時間 1 単位）
年間の授業は、前期(15 週)と後期(15 週)の 2 期制とし、授業日は週 5 日（月～金）、
1 日 4 コマ（1 コマ 90 分）の授業計画である。

成績評価の基準・方法

全科目 5 段階評価。　5（90～100 点）、4（80～89 点）、3（70～79 点）、2（60～69 点）、1（59 点以下）として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。

卒業・進級の認定基準

1. 規定の科目を履修し、各期末試験を受け、5 段階評価のうち「2」以上の判定を受けていること。
2. 各科目 3 分の 2 以上の出席をしていること。
3. 納入すべき学費を完納していること。

学修支援等

クラス担任制をとっており、日々の学校生活を過ごしやすいよう目を配っている。授業欠席数の増加や成績不振の場合は個別面談を行い、補講も対応している。更には保護者と連携を取り、必要に応じて懇談を行う。
スクールカウンセラーも定期的に来校して心理的な相談もできるよう対応している。
学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう心掛けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
41 人（100%）	1 人（2.4%）	39 人（95.2%）	1 人（2.4%）

（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム、知的障害者施設、老人保健施設等
（就職指導内容） 早期に介護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。就職担当教員が必要に応じて学生と面談し、的確な指導ができるよう配慮している。 2年次に学外就職ガイダンスに参加して、様々な事業所と面談し就業のミスマッチを未然に防ぐ。
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77人	3人	3.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更　体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談をすると共に、保護者への連絡及び連携も密にしている。教職員全体で学生の変化に気づくよう心掛けている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士
医療		看護専門課程		看護学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3075時間		2115時間	0時間	960時間	0時間	0時間
				3075単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
120人		118人	0人	11人		55人		66人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・演習・実技・実習で構成している。演習単独の科目はないが、講義授業の中で少し含めている。 （講義15～30時間1単位、演習30時間1単位、実技45時間1単位、実習30～45時間1単位） 年間の授業は、前期(15週)と後期(15週)の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、 1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法

全科目5段階評価。　5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）として、終講試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。
卒業・進級の認定基準
1. 規定の科目を履修し、各終講試験を受け、5段階評価のうち「2」以上の判定を受けていること。 2. 各科目3分の2以上の出席をしていること。 3. 納入すべき学費を完納していること。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活を過ごしやすいよう目を配っている。授業欠席数の増加や成績不振の場合は個別面談を行い、補講も対応している。更には保護者と連携を取り、必要に応じて懇談を行う。 スクールカウンセラーも定期的に来校して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう心掛けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 （100.0%）	0人 （0.0%）	23人 （71.9%）	9人 28.1%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 早期に看護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。就職担当教員が必要に応じて学生と面談し、的確な指導ができるよう配慮している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119人	4人	3.4%
（中途退学の主な理由） 学力不振　進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談をすると共に、保護者への連絡及び連携も密にしている。教職員全体で学生の変化に気づくよう心掛けている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
こども未来学科	230,000 円	640,000 円	260,000 円	幼稚園教諭二種免許状（取得者のみ）200,000 円
介護社会福祉科	230,000 円	650,000 円	300,000 円	
看護学科	400,000 円	670,000 円	320,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.nansen.ac.jp/lectures/index.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
企業・業界団体・学術機関の有識者等からなる学校関係者評価委員会が、各専攻分野における知見を活かして各学科の教育課程や進路指導等について評価し、その評価結果を運営会議や教員会議にて検討して学校長の決裁により次年度以降、教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(学)桃山学院大学 桃山学院大学	2017.4.1～2025.3.31 （任期更新）	学術機関の有識者
(学)睦学園 兵庫大学	2014.2.1～2025.3.31 （任期更新）	学術機関の有識者
(福)南海福祉事業会 特別養護老人ホーム フィオーレ南海	2014.2.1～2025.3.31 （任期更新）	企業管理職
(福)南海福祉事業会 南海かもめ認定こども園	2017.4.1～2025.3.31 （任期更新）	企業管理職
（医）紀和会 正風病院	2022.11.1 ～ 2025.3.31 （任期更新）	企業管理職
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.nansen.ac.jp/lectures/index.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.nansen.ac.jp/index.html